

# 低炭素合材

温室効果ガスの排出削減に寄与するアスファルト合材

## 低炭素合材ってなに？

低炭素合材とは、**低炭素技術によって製造するアスファルト合材**の総称です。  
中温化合材(LEAB)・実質CO<sub>2</sub>フリー電力の活用など、CO<sub>2</sub>排出量を低減した手法で合材を製造します。

## 全品種に対応

再生密粒をはじめとして、透水性、改質、カラーなど、工場で製造する全ての品種を低炭素合材として販売できます。

## 通常施工でOK

通常のアスファルト合材と同じ方法で運搬・施工できます。もちろん、見た目の仕上がりも耐久性も通常合材と変わりません。

## お客様の脱炭素経営のサポート

1

### CO<sub>2</sub>削減のPR実施

CO<sub>2</sub>削減量を可視化し、証書としてお渡しします。証書の活用で、環境貢献活動を積極的にPRできます。また、工事成績評価の加点にもつながります。

2

### 優位性の構築

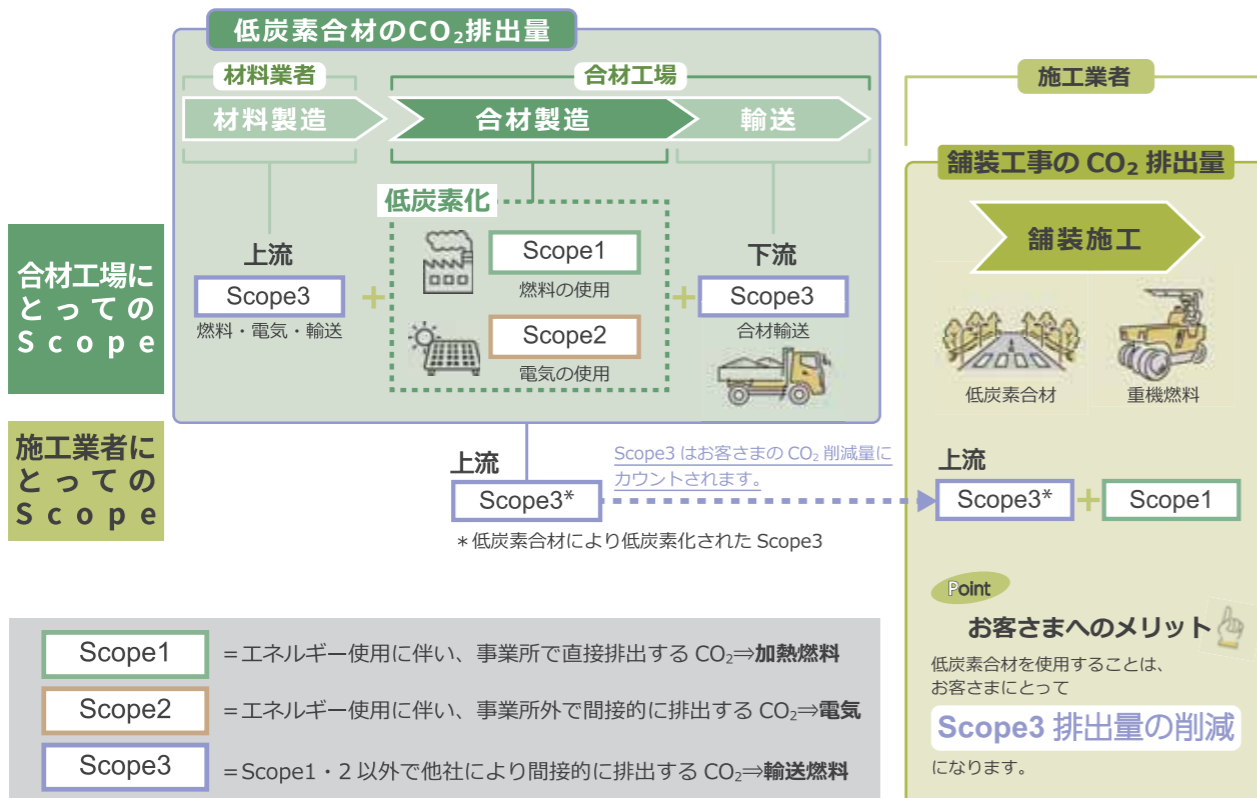
他社より早く取り組むことで『脱炭素経営が進んでいる企業』や『先進的な企業』という良いイメージが獲得できます。

3

### 人材獲得力の向上

自社の社会貢献は社員のモチベーションにつながります。また、サステナブルな企業へ従事したい社員数は年々増加しています。

## アスファルト舗装のCO<sub>2</sub>排出量の考え方(スコープ1・2・3)



# お客様のCO<sub>2</sub>排出量 Scope3削減

## LEAB(レアブ)技術等による化石燃料消費量の削減

前田道路が業界に先駆けて導入したLEAB技術による中温化合材やバイオマス燃料・都市ガスなど低炭素な燃料を使用しています。

加熱  
Scope1

電力  
Scope2

重機  
Scope1

## 工場稼働に必要な動力をCO<sub>2</sub>フリー電力化

工場の稼働電力を再生可能エネルギー由来の電力等に置き換えることで、電力由来のCO<sub>2</sub>排出を実質ゼロに。

## プラント内で重機燃料にB5燃料を使用

材料投入などに重機を稼働させる際には、軽油に5%以下のバイオディーゼル燃料(BDF)を混合したB5燃料を使用しています。

7つのメソッド

- 1 LEAB技術による出荷温度低減
- 2 その他中温化手法による出荷温度低減
- 3 RE100電力契約による全電力CO<sub>2</sub>フリー化
- 4 通常電力の実質CO<sub>2</sub>フリー化
- 5 バイオマス燃料の混焼による燃料の低CO<sub>2</sub>化
- 6 低CO<sub>2</sub>排出な都市ガスの活用
- 7 その他低炭素化技術(CNガス・蓄熱式脱臭炉)

# 低炭素合材は通常価格据え置き

## アクションレポートで削減量が見える化



スギの木  
約120本分!

(参考例: 施工面積1,000m<sup>2</sup> 施工厚さ5cm 削減量1,700kg-CO<sub>2</sub>)  
CO<sub>2</sub>排出削減量は、工場や品種毎に異なります。

## ご用命は前田道路グループへ 前田道路株式会社 全国11支店

- 北海道支店
- 東北支店
- 北関東支店
- 東京支店
- 西関東支店
- 中部支店
- 関西支店
- 中国支店
- 九州支店
- 北陸支店
- 四国支店

全国96工場  
どこでも対応  
全営業所・全工場 低炭素化